

令和 8 年度当初予算 主要事業概要（教育費）

かつしか教育プラン（2024～2028）は、「かがやく未来をつくる力をはぐくむ ～ 共に学びあい 支えあうまち かつしか ～」を計画の目指す姿としてまとめ、3つの基本方針に基づき主要事業を推進していきます。

◆基本方針 1

子ども一人一人が生き生きと学び生きる力を培う学校教育を推進します

【学校施設総合管理等業務委託の拡大】

教育総務課（268,038千円）

現在10校で実施している学校施設総合管理業務委託（注）及び学校用務業務委託について、より効率的かつ安定した業務執行体制を確立するため、8年度から学校用務業務委託を8校から12校へ拡大し、学校施設総合管理業務委託の2校と合わせ14校を委託します。

（注）学校用務業務及び学校施設開放業務の一部（学校施設等使用申請受付、学校施設開放管理等）を総合的に行う業務

【快適な学校環境の整備】

学校施設課（240,098千円）

誰もが安心して学校生活を送り、災害時にも高齢者や障害のある方が安心して学校避難所を利用できるよう計画的に学校施設のバリアフリー化や学校トイレの洋式化を推進します。

8年度は、小学校2校、中学校1校にスロープを設置するほか、小学校2校に車椅子使用者用トイレを設置します。また、小学校9校・中学校6校において和式トイレの洋式化等を行います。

【計画的・予防的な修繕の推進】

学校施設課（1,584,448千円）

公共施設をできる限り長く、安全かつ快適に使えるようにするため、計画的・予防的な修繕により、既存施設を維持・保全し長寿命化を図ります。施設の日常点検や各種調査結果を生かしながら、葛飾区区有建築物保全工事計画策定方針や保全工事計画に基づき、効果的・効率的な設計や工事に取り組みます。

（1）小学校11校

南綾瀬小学校、上平井小学校、鎌倉小学校、こすげ小学校、半田小学校、青戸小学校、清和小学校、中之台小学校、白鳥小学校、上小松小学校、東水元小学校

（2）中学校6校

双葉中学校、亀有中学校、立石中学校、一之台中学校、青戸中学校、葛美中学校

（3）日光林間学園

【学校施設の改築】

学校施設整備担当課・学務課（17,093,448千円）

良好な教育環境を維持するため、通学区域の変更等も視野に入れつつ学校の適正規模を確保し、地域とのつながりも重視しながら、学校施設の計画的な改築を推進します。

また、改築基本構想・基本計画の策定に当たっては学校別に懇談会を設け、学校や保護者、地域の方々などと意見交換をしながら進めます。

8年度は引き続き改築を進めます。

（1）改築校

水元小学校、道上小学校、二上小学校、よつぎ小学校・四ツ木中学校、宝木塚小学校、常盤中学校、柴又小学校・東柴又小学校、東四つ木小学校・中川中学校、小松南小学校、本田小学校

【学校給食費の完全無償化・学校給食弁当対応者への補助】

学務課（2,060,239千円）

児童・生徒の心身の健全な発達と保護者負担の軽減を目的に、学校給食費の完全無償化を5年度から開始し、6年度からは重度の食物アレルギー等の理由により学校給食を全く喫食せず弁当を持参している児童・生徒の保護者についても、学校給食費相当額の補助を実施しています。また、7年度は食材料費の高騰に対応するため、給食費を改定するとともに補助額を引き上げました。

8年度も学校給食費の無償化を継続します。

【修学旅行費・一部副教材費等の無償化】

学務課・教育指導課（622,711千円）

義務教育期間にかかる子育て世帯の経済的負担を軽減し、ゆとりをもって子育てできる環境の充実を図るため、小学5年生の臨海学校のほか、小学6年生の林間学校や中学2年生の移動教室、中学3年生の修学旅行、一部の副教材の費用を7年度から無償化しています。

8年度も修学旅行費・一部副教材費等の無償化を継続します。

【防災ヘルメットの全校配備】

学務課（26,081千円）

区立小・中学校の防災対策として、防災ヘルメットが配備されていない学校への導入及び老朽化した防災ヘルメットの更新を順次実施していきます。

8年度は、9年度に入学する児童・生徒を対象に配備を行います。

【学用品の学校備品化】

学務課（17,680千円）

8年度から、これまで保護者負担で購入していた学用品の一部（算数セット、彫刻刀、粘土板等）を学校備品として配備することで、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

【総合的な学力向上事業～次代に活躍する人材の育成～】

教育指導課（135,437千円）

これまでの学力向上の取組を更に発展させるとともに、ICTの活用による子ども一人一人の個別最適な学びの実現や、情報活用能力の向上のための取組を進めます。

また、ICTを活用した教員の指導力向上や、PDCAサイクルに基づいた授業改善の取組を推進します。

さらに、小学校への学習指導補助員の配置、中学校における家庭学習の取組、タブレット端末を活用した自学自習等の取組を総合的に進めます。

8年度は、「読み解く力」を育むことをめざし、7年度に導入した新聞記事を教材としたワークシートの対象学年を、小学5年生から中学3年生までに拡大します。

また、かつしかチャレンジプログラムの取組に、学習センター（学校図書館）を活用し、読む力及び情報活用能力を高め、探究的な学びに取り組むコースを新設します。

【放課後及び夏季休業期間の学習センターの開放】

教育指導課（263,358千円）

放課後や夏季休業期間に学校司書を学習センター（学校図書館）に配置し、子どもたちの読書活動や探究的な学びを充実させ、主体的な学びや課題を見つけ解決する力を高めます。

【教育情報化推進事業】

学校教育推進担当課（2,176,016千円）

人工知能（AI）やビッグデータ、IoT等の高度な技術が社会を大きく変えていく中で、未来の創り手となる子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けることができるよう、学校におけるICT環境の充実やICT推進体制の確保等に取り組み、ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」や教員の働き方改革等、教育DXの更なる推進を図ります。

8年度は、中学校において普通教室の大型提示装置の入替を行うなど、ICT環境の充実を図り、授業等の学習活動で更にICTの活用を推進します。

また、小学校のプログラミング教材を更新するほか、かつしかチャレンジプログラムにおいては「プログラミングコース」に入門コースを新設し、プログラミング教育の充実にも取り組みます。

【体力向上のための取組】

教育指導課（6, 684千円）

子どもの体力の一層の向上のため、引き続き「かつしかっ子体力アッププログラム」を実施し、子どもが学校で運動する機会を増やします。また、小学1年生の体育の授業において、外部指導員と連携し、基本的な体の動きを楽しく身に付ける「小学校体力向上プログラム」を、中学校の保健体育の授業において、外部有識者と連携し、体を動かす楽しさや心地よさを味わえる「中学校体力向上プログラム」を実施します。

【かつしかチャレンジプログラム】

教育指導課・学校教育推進担当課（一部再掲）（26, 351千円）

学習や能力向上への意欲が高い区立小・中学校の児童・生徒を対象に、土曜日や長期休業中に活動し、能力を更に向上させるための「かつしかチャレンジプログラム」を開設します。

8年度は、小・中学生対象の「プログラミングコース」に入門コースを新設するほか、昨年度同様、「自然科学コース（科学教室）」「理数分野コース」、中学生対象の「English Challengeコース」を実施し、思考力やコミュニケーション能力等の更なる育成を図ります。また、学習センター（学校図書館）を活用し、読む力及び情報活用能力を高め、探究的な学びに取り組むコースを新設します。

【いじめ防止対策プロジェクト】

教育指導課（6, 211千円）

区、学校、地域が連携・協力していじめ防止の徹底を図るほか、「葛飾区いじめの未然防止・早期発見・早期対応スタンダード」を活用し、いじめの兆候が見えた場合は、当該学校において速やかに学校いじめ対策委員会で協議し、初動の段階から組織的な対応を行います。

8年度は、弁護士を講師とする研修を実施し、管理職や教職員の対応力向上と法的責任の理解を深めます。

【発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実】

学校施設課・学務課・総合教育センター教育支援課（217, 598千円）

教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を全ての小・中学校で運営します。また、多層指導モデル（デジタル版MIM）を全ての小学校で引き続き実施します。

8年度は、現在一部の小学校で試行導入している認知機能強化トレーニングアプリを全ての小学校の特別支援教室へ拡大し、発達特性のある児童が円滑な学校生活を送ることができるよう学習環境を整えます。

また、特別支援教室に通室している児童の保護者に向けて実施している「ペアレントトレーニング」の対象学年を、現行の小学1年生から3年生に加えて、小学4年生から6年生までの保護者も参加できるように、拡大して実施します。

【日本語指導の充実】

学校施設課・学務課・教育指導課・総合教育センター教育支援課（95,801千円）

来日直後等で、日常の学校生活で使う日本語や生活習慣を身に付ける必要がある子どもに対して、日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を実施します。また、「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行います。さらに、日本語の理解が十分でない子ども及びその保護者と教職員との間の意思疎通を円滑に行えるよう、日本語通訳を派遣します。

8年度は、「にほんごステップアップ教室」の3教室目を金町地域に開設するとともに、一部の日本語学級及び日本語指導加配教員設置校に「日本語指導講師」を派遣し、増加する日本語指導の需要への対応を図ります。

また、学習支援用翻訳サービスを試行的に実施します。

【不登校対策プロジェクト】

学校施設課・学務課・総合教育センター教育支援課（140,296千円）

登校できない状況にある子どもを支援する「ふれあいスクール明石」の運営や教室に入ることができない子どもを支援する「校内サポートルーム」の設置、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した支援など、一人一人の状況や課題に応じた様々な支援策を講じ、学校や総合教育センターが家庭と連携して子どもの将来に向けた社会的な自立を支援します。

8年度は、「校内サポートルーム」の運営を全中学校にて開始します。

また、「登校サポーター」については、配置校を小学校2校から3校に拡大します。

さらに、ゆとりある生活時程の中で、生徒一人一人の実態に応じた支援を行う学級である「チャレンジクラス」を双葉中学校に設置します。

◆基本方針 2

家庭・地域・学校が連携して子どもの豊かな成長を促します

【学校運営協議会の設置】

地域教育課（503千円）

保護者や地域住民が学校運営に参画することで、学校が抱える多様な課題を解決し、子どもたちの豊かな成長につながるよう、学校運営協議会を順次区立学校に設置していきます。

8年度は、松上小学校及び新小岩中学校に設置するとともに、9年度以降の設置予定校や関係団体に対し説明会や研修会を開催し、制度理解の促進を図ります。

【家庭教育支援事業】

地域教育課（6,084千円）

子育て中の家庭や子どもの育成に関わる活動を行う保護者組織等に対して、家庭教育に関する啓発や学習機会の提供、活動支援を行います。また、よりよく生きていくための礎となる生活習慣と基礎的な社会ルールについて、乳幼児期から身に付ける大切さや必要性などの理解を深めるため、「早寝・早起き、朝ごはんカレンダー」と「かつしか家庭教育のすすめ」を作成・配付し、学びの出発点である家庭の教育力向上を図ります。

【学校地域応援団活動支援】

地域教育課（17,002千円）

地域の方々の力により学校を支援する学校地域応援団は、区立小・中学校72校全校に設置されています。各学校や地域が抱える様々な課題や悩みを解決するため、各学校に配置している地域コーディネーターの情報交換の場や、資質向上のための具体的な活動に資する研修会を開催するなど、支援の充実を図ります。

また、地域コーディネーターの役割や活動内容の参考事例を記載した手引きを作成・配付することにより多様な活動の促進を図ります。

さらに、各学校地域応援団による活動を区の広報紙や公式ホームページ、SNS等を活用し情報発信することなどにより、地域の方が気軽に学校の支援に参加できる環境づくりに取り組みます。

【中学校部活動の地域展開】

地域教育課（38,897千円）

生徒の豊かなスポーツ・文化活動の機会の確保に取り組みます。

7年度末に策定する、本区における部活動の地域連携・地域展開の基本的な考え方をまとめた推進方針に基づき、部活動の地域展開を導入した際の諸課題の抽出やその解決策を検証することを目的としたモデル事業を実施します。

また、学校の状況を踏まえ、引き続き部活動顧問指導員や外部指導者の配置充実を図ります。

8年度は、新たなモデル校において単独校モデル事業を実施するとともに、7年度から実施している中川中学校、四ツ木中学校での合同校モデル事業を継続して実施します。

【学校施設等を活用した放課後子ども支援事業】

放課後支援課（629,949千円）

放課後支援事業の総合的な再構築の検討を継続しながら、学校改築等にあわせた校内学童保育クラブの開設や、待機児童解消に向けた緊急対策としての放課後居場所事業「かつしかプラス」の拡大を進めることで、将来的な待機児童ゼロをめざすとともに、全ての児童が放課後等を安心・安全に過ごせる環境づくりを推進します。

8年度は、「かつしかプラス」の実施を新規で1校開始するとともに、夏季一時学童保育は実施クラブを5クラブ拡大します。

◆基本方針 3

生涯にわたる豊かな学びを支援します

【学びの機会の充実】

生涯学習課（7, 650千円）

あらゆる世代の区民が充実した人生を送るため、区民のニーズに基づいた主体的な学びの機会を充実させます。

また、区民の学びが地域活動やボランティア活動に結び付き、地域活動を通して更に学びが深まる「学びの循環」が地域社会に生まれるよう、多様な方法で区民の生涯学習活動を支援します。

あわせて、ICTを活用した場所や時間に制約されない学びの機会の提供に取り組みます。

【文化財の保存及び活用】

生涯学習課（58, 036千円）

本区に存する貴重な文化財が適切に保存・管理されるよう当該所有者等を支援するとともに、所有者や地域の方々との協働による「文化財めぐり」「文化講座」の実施や、情報誌「かつしかの文化財」の発行等を通して、文化財の積極的な情報発信を図ります。また、指定・登録文化財以外でも、地域で大切に守り伝えられている文化的資源を、地域の歴史や文化を伝える大切な資源として継承していくとともに、地域の文化遺産として活用し地域の活性化を図ります。

【高齢者の健康づくりの推進】

生涯スポーツ課（8, 562千円）

健康寿命の延伸と健康格差の縮小をめざし、高齢者が自主的・積極的に安心してスポーツを行うことができる環境づくりを推進します。また、スポーツ指導員やスポーツボランティアを養成し、各種教室やイベントで活用していくことで、高齢者が身近な地域で安心、安全にスポーツに取り組むことができるようにしていきます。

これからスポーツを始める方、日頃からスポーツに取り組んでいる方が自身の体力状況を把握したうえで運動の継続を促すための、体力テスト測定会を実施します。また、高齢者が手軽に取り組めるスポーツプログラムとして、本区の推奨スポーツであるグラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、ダーツの3種目を普及促進します。さらに、身近な場所で手軽に取り組めるウォーキングを推進するために、ウォーキング・ランニング事業を実施します。

【障害者スポーツの推進】

生涯スポーツ課（9, 023千円）

障害者が自主的かつ積極的に安心してスポーツ活動に取り組めるよう、パラスポーツ指導員の養成と発掘を進めるとともに、年間を通して定期的に水泳やトランポリンの教室や開放事業を開催し、指導員の活動の場を提供します。また、共生社会の実現に向けて、ボッチャ

やフロアホッケー等、障害がある方もない方も同じルールで一緒に楽しむことができるユニバーサルスポーツの普及のため、PRイベント「ユニすぽカーニバル in かつしか」を実施するとともに、指導員やボランティアの育成を図ります。

【区民健康スポーツ参加促進事業】

生涯スポーツ課（41,897千円）

一般社団法人葛飾区スポーツ協会と連携して、協会加盟41種目の団体が実施する、運動経験の少ない方や初心者向けのスポーツ体験教室や大会、指導員養成などの取組を支援します。これにより、区民が多様なスポーツに親しむ機会を提供してスポーツ実施率を向上させるとともに、誰もがいつまでも健康に過ごせる環境づくりを進めます。

また、堀切水辺公園を中心に荒川河川敷で開催する「かつしかふれあいRUNフェスタ」について、イベント企画やおもてなしサービスの充実を図り、参加者の増加や満足度の更なる向上に取り組みます。あわせて、多くの区民がランナーとしての参加に限らず、運営ボランティアや沿道での応援など、これまで以上に多様な形で関わり、地域全体で盛り上がる魅力ある大会となるよう、ハーフマラソンコースの一部公道化の検討を進めます。

【スポーツ施設の利用しやすい環境整備】

生涯スポーツ課（526,036千円）

スポーツ施設の利便性・安全性を向上させるための改修などに計画的に取り組み、安心して利用しやすい環境整備を進めます。

8年度は、奥戸総合スポーツセンター陸上競技場天然芝化工事及び陸上競技場照明設備改修工事、水元総合スポーツセンターのトイレ洋式化を実施します。また、荒川及び江戸川河川敷グラウンドトイレの工事、水元公園スケートボード広場整備基本設計・実施設計を実施します。

【デジタル技術の効果的な活用推進】

中央図書館（23,767千円）

近年、デジタル化の進展により社会環境が大きく変化している状況を受け、図書館においてもデジタル技術を積極的に活用することにより、図書館サービスの向上や業務効率化に取り組んでいきます。

（1）お花茶屋図書館及び上小松図書館セルフ予約棚導入

利用者のプライバシーの確保や利便性向上のため、ICTを活用した自動貸出機、セルフ予約棚、簡易返却機などの設備を導入し、貸出・返却や予約した本等の受け取りについて、職員を介さず利用者自身で手続きを行うことができるシステムを整備します。

8年度は、お花茶屋図書館及び上小松図書館にセルフ予約棚及び簡易返却機を導入するほか、自動貸出機を増設します。

【図書館窓口等業務委託の拡大】

中央図書館（321,563千円）

現在図書館8館（中央・立石・地区館6館）で導入している窓口等業務委託について、9年4月から13館（全館）に拡大する予定です。

8年度は、9年4月の拡大に向けた準備を進めていきます。

【「葛飾区立図書館の改修の考え方」に基づく整備】

中央図書館（408,506千円）

老朽化等に伴う施設・設備の改修にあわせて、「利便性の向上とプライバシーへの配慮」、「利用者への配慮」、「魅力的な空間づくり」に取り組んでいきます。

8年度は、お花茶屋図書館、上小松図書館、亀有図書館及び水元図書館の改修工事等を予定しています。

【四つ木地区図書館の整備】

中央図書館（95,100千円）

既存のよつぎ小学校校舎内にある四つ木地区図書館は、よつぎ小学校・四ツ木中学校の改築に合わせ、小中施設一体型校舎内に移転します。図書館の規模は、既存と同程度の面積を確保します。8年度は本体工事を予定しています。

【計画的・予防的な修繕の推進】

生涯スポーツ課・中央図書館（一部再掲）（229,817千円）

公共施設をできる限り長く、安全かつ快適に使えるようにするため、計画的・予防的な修繕により、既存施設を維持・保全し長寿命化を図ります。施設の日常点検や各種調査結果を生かしながら、葛飾区区有建築物保全工事計画策定方針や保全工事計画に基づき、効果的・効率的な設計や工事に取り組みます。

8年度は、お花茶屋図書館及び奥戸総合スポーツセンター（温水プール館）にて修繕工事を行います。

【公共施設のトイレ環境整備の推進】

地域教育課・生涯スポーツ課・中央図書館（一部再掲）（62,093千円）

地域コミュニティ施設や公園等の公共施設に設置している和式トイレの洋式化などにより、施設を利用する誰もが快適に過ごすことのできる環境を整備します。

8年度は、にいじゅくプレイパーク、ポニースクールかつしか、水元総合スポーツセンター、お花茶屋図書館及び上小松図書館にてトイレ洋式化工事を行います。